

令和5年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（1月～3月）

コロナ禍が明け、県内の総合型クラブにおいても通常の活動に戻ってきました。しかし、一度離れた会員が戻らずクラブ経営が厳しいところが多いようです。次年度の登録・認証制度に関しては、県内24クラブの申請となりました。未登録クラブへの支援は継続予定ですが、クラブの二極化が進んできました。

1月

<登録審査委員会>

次年度に向け、登録審査委員会（1/17）が開催されました。

申請方法がシステム化され、最初の年となり各クラブに戸惑いもありましたが、申請書類の提出まで事務局がサポートし、次年度は県内から24クラブの登録となりました。

制度の有効活用などの課題に対して、行政理解が進むよう周知活動にも力を入れていきます。



第2回登録審査委員会

<地域スポーツ推進団体会議>

今年度も、地域スポーツの基盤づくりのために様々な研修会を開催しました。県内総合型クラブ関係者をはじめ、市町行政や関係団体を交え有意義な時間になったようです。しかし、各団体がいかに行動を起こすかが今後の課題になりそうです。多様性を尊重する社会情勢の中で、地域の役割りは更になりそうです。知恵を絞り、スポーツの力で出来ることを一緒に考えましょう。



第2回地域スポーツ推進団体連絡会議

アドバイザー活動

- ・あわらトリムクラブ ・登録審査委員会 ・越前市障がいSC
- ・地域スポーツ推進団体会議（基盤強化事業）
- ・明章小学校出前講座 ・陽明中学校出前講座 など

2月

<各クラブイベント>

2月4日（日）越前市今立体育センターで、いまスポクラブ主催の囲碁ボール大会が開催されました。当クラブは定期的に地域住民参加型のスポーツイベントを開催しています。今回も約80名の住民（クラブ会員・スポーツサークル・町内有志等）が集まりイベントを楽しんでいました。

中には、他クラブメンバーも参加し交流を深めていました。

2月17日（土）坂井市アルプラザ・アミ1Fセンターコートで、UNITIVE291主催の「ユニバーサルスポーツ交流会」が開催されました。

ショッピングセンターでの開催ということで、親子参加も多く、卓球バレーやボッチャ、モルックを楽しんでいました。今後も新規会員確保に向けた取り組みをアドバイスしていきます。



囲碁ボール大会



ユニバーサルスポーツ交流会

2月

＜福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会スポーツ交流会＞

令和6年2月10日（土）鯖江市スポーツ交流館にて、県総合型クラブ連絡協議会交流会を実施しました。今回はクラブ対抗の卓球バレー大会を実施し、初めて挑戦するクラブチームもプレーを楽しめる交流会になりました。

普段は県内クラブの交流が少なく、それぞれの悩みや課題を聞くことはありませんが、試合の合間にはクラブの近況を話し合うなど交流が図れました。



交流会の様子

3月

＜福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 第2回常任委員会＞

3月27日（水）に令和5年度最後の常任委員会が開催されました。今年度の事業報告や決算報告などが主な議題でしたが、次年度に向けた協議も活発に行われ、これからも変化してくるスポーツを取り巻く環境の変化に各クラブでも対応できるように情報収集やクラブを盛り上げるための発想など、積極的な運営を心掛けていくようアドバイスしました。

＜令和5年度のまとめ＞

県内各クラブの課題は様々で、それぞれの課題に対して適切な助言を心掛けました。クラブ運営の二極化は深刻な課題になってきており、今後は時代背景も考慮したクラブ展開を考えていかなくてはならない状況です。一方で、部活動の地域移行による地域スポーツの動きも注目しておきたいところです。

総合型クラブが今後どのような立ち位置になるのか、多様性が求められる中で、どのようなクラブ運営が必要なのかをアドバイスしたいと思います。地域スポーツの基盤強化は子どもたちのスポーツ環境を整えるだけでなく、誰もが生涯にわたりスポーツを親しむための重要な側面も持ち合わせています。地域に根付き、人が集まる持続可能なクラブ運営を目指してもらいたいです。